

# 第2学年 国語科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

単元名		単元内容
1 学期	じゅんばんにならぼう	■目的に沿って、声を掛け合う。
	つづけて みよう	■絵に描かれた様子を文章に書く。
	ふきのとう	■音読を聞き合い、感想を伝え合う。
	図書館たんけん	■図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけ、発表する。
	春が いっぱい	■春を感じる言葉を探し、経験を文章に表す。
	日記を 書こう	■身近な出来事を日記に書く。
	ともだちを どこかな	■目的に応じて大事なことをメモしながら聞き取る。
	たんぼぼの ちえ	■植物の生態について書かれた文章を読み、感想を書く。
	かんざつ名人に なろう	■観察したことを記録する文章を書く。
	いなばの 白うさぎ	■神話の読み聞かせを聞き、感想を伝える
	同じ ぶぶんをもつ かん字	■漢字のつくりを知り、使う。
	スイミー	■物語を読み、好きな場面について伝え合う。
	かん字の ひろば①	■絵を説明する文を書く。
	メモを とる とき	■気づいたことや分かったことをメモに取る。
	こんな もの、 見つけたよ	■自分が見つけた「いいな」と思うものを友達に伝える文章を書く。
	あったらいいな、こんなもの	■質問をし合うことを通して考えをまとめる。
	夏が いっぱい	■夏を感じるものを見つけ、自分の感想を添えたカードを作る。
	お気に入りの本を しょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし	■お気に入りの本を紹介し合う。
2 学期	雨のうた	■音読して、詩を楽しむ。
	ことばでみちあんない	■友達と道案内をし合う。
	みの回りのものを読もう	■身の回りの情報を集めて整理する。
	書いたら、見直そう	■文章を声に出して読むなどして、見直す。
	かん字のひろば②	■絵の言葉を使って、日記を書くように文章を書く。
	どうぶつ園のじゅうい	■説明的な文章を読んで、考えたことを話す。
	かたかなのひろば	■絵の中の言葉を使って、文を作る。
	ことばあそびをしよう	■言葉遊びを楽しむ。
	なかまのことばとかん字	■漢字を使って文章を書く。
	かん字のひろば③	■絵を説明する文を書く。
	お手紙	■物語を読み、登場人物に向けて手紙を書く。
	主語と述語に 気をつけよう	■主語と述語の関係を知る。
	かん字の読み方	■既習の漢字を使って、文を作る。
	秋がいっぱい	■秋を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えたカードを作る。
	そうだんに のってください	■グループで相談する。
	紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	■おもちゃの作り方を説明する文章を読み、それをいかして書く。
	にたいみのことば はんたいのいみのことば	■似た意味と反対の意味の言葉の組を作る。
	せかいーの話	■昔話の読み聞かせを聞く。
	かん字の広場④	■絵と対応する文を書く。
	みきのたからもの	■物語を読み、あらすじをまとめて紹介する文章を書く。
	お話の さくしゃになろう	■想像して物語を書く。
冬がいっぱい	■冬を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えたカードを作る。	
3 学期	ねこのこ おとのはなびら はんたいことば	■詩を楽しんで読み、お気に入りの詩をカードに書いて交流する。
	かたかなで書くことば	■絵と対応する文を書く。
	ロボット	■ロボットについて説明する文章を読み、考えたことを伝え合う。
	ようすを あらわすことば	■様子を表す言葉を使って文を書く。
	見たこと、かんじたこと	■経験したことを基に詩に書く。
	カンジーはかせの 大はつめい	■漢字クイズをする。
	すてきなところをつたえよう	■友達に手紙を書いて届ける。
	スーホの白い馬	■物語を読み、最も心を動かされたことについて、感想を交流する。
	かん字の広場⑤	■絵の様子を説明する文を書く
	楽しかったよ、二年生	■心に残ったことを発表する。
二年生をふりかえって	■1年間の国語の学習活動を振り返って書く。	
年間	書写	姿勢 鉛筆の持ち方 硬筆展に向けての取り組み 書き順 原稿用紙の使い方、とめ、はね、はらい、そり、まがり、おれ、フェルトペンで書きぞめ 画の付き方・交わり方、

## 第1学年及び第2学年の目標

知識及び技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

## 通知表「はげみ」 評価の観点

知識・技能	言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、日本の言語文化に関する知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	順序立てて考える力や想像する力、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさに気付き、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

## 評価方法

テスト（基準90%以上…よくできる 70%以上～90%未満…できる 70%未満…がんばろう）  
 ノート・ワークシートへの記述 硬筆 書きぞめ  
 作文・観察文  
 授業態度 発表内容 スピーチ 話し合い活動  
 記録、説明、報告、紹介、感想などの言語活動  
 提出物

## 国語科の力を伸ばすために

### 【おんどく】

- たのしみながら、おおきなこえでよめるようにしましょう。
- くとうてん（「、」や「。」）に気をつけて、すらすらよめるようにれんしゅうしましょう。
- まいにち、つづけてれんしゅうしましょう。

### 【かくこと】

- 正しいしせいで、ていねいにゆっくりかきましょう。
- ひらがな・カタカナ・かん字を、正しいかきじゅん・かたち・おくりがなでかけるように、ていねいにれんしゅうしましょう。
- こくごのきょうかしよのぶんを、正しく、はやくかきうつせるようにれんしゅうしましょう。

## 第2学年 算数科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

	単元名	単元内容
1 学 期	1. わかりやすく あらわそう [グラフとひょう]	簡単な表やグラフについて理解する。
	2. たし算の しかたを 考えよう [たし算のひっ算]	2位数の加法の筆算の仕方について理解する。
	3. ひき算の しかたを 考えよう [ひき算のひっ算]	2位数の減法の筆算の仕方について理解する。
	4. 長さをはかって あらわそう [長さのたんい]	単位の意味と測定の原理を理解する。
	5. 100より大きい数を しらべよう [3けたの数]	1000までの数についてその意味や表し方を理解する。
	6. 水のかさを はかって あらわそう [水のかさのたんい]	長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解する。
	7. 時計を生活に 生かそう [時こくと時間]	時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解する。
2 学 期	8. 計算のしかたを くふうしよう [計算のくふう]	加法の結合法則、簡単な加減の暗算の仕方を理解する。
	9. ひっ算のしかたを 考えよう [たし算と ひき算のひっ算]	2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解する。
	10. さんかくやしかくの 形をしらべよう [長方形と正方形]	三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解する。
	11. 新しい計算を 考えよう [かけ算(1)]	乗法の意味について理解する。
	12. 九九をつくろう [かけ算(2)]	乗法の意味について理解する。
3 学 期	13. 1000より大きい 数をしらべよう [4けたの数]	10000までの数についてその意味や表し方を理解する。
	14. 長い長さを はかって あらわそう [長いものの 長さのたんい]	長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解する。
	15. 図をつかって 考えよ う [たし算とひき算]	加法と減法の相互関係について理解する。
	16. 分けた大きさをあ らわし方をしらべよう [分 数]	1/2や1/3などの簡単な分数について知る。
	17. はこの形を しらべよう [はこの形]	正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解する。

## 第2学年の目標

知識及び技能	数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したりする力などを養う。
学びに向かう力、人間性等	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く生活や学習に活用しようとする態度を養う。

## 通知表「はげみ」 評価の観点

知識・技能	数量や図形などの性質を理解し、正確に計算したり表やグラフに表したりするなどの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	問題に対して、見通しをもち筋道立てて考えたり解決の過程や結果を多面的に考察したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさに気づき、粘り強く考えるとともに、生活や学習に活用しようとしている。

## 評価方法

テスト（基準90%以上…よくできる 70%以上～90%未満…できる 70%未満…がんばろう）  
 ノート・ワークシートへの記述  
 発表内容  
 授業態度  
 提出物 等

## 算数科の力を伸ばすために

- かすのよみかた・かきかたをれんしゅうしましょう。
- まずは、ゆっくり正しくけいさんできるようにしましょう。
- 正しくけいさんできるようになったら、すこしずつはやくできるようにれんしゅうしましょう。
- ◆たしざん・ひきざんのれんしゅうをしましょう。

## 第2学年 生活科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

生活科 教科の目標	
知識及び技能の基礎	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	身近な人々、社会及び自然を自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

	単元名	単元内容
1 学期	春だ 今日から 2年生	春の身近な自然の観察を通して、地域への関心を高めようとするようにする。
	ぐんぐん そだて わたしの野さい	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとするようにする。
	ときどき わくわく まちたんけん	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の人々と適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとするようにする。
	生きもの なかよし 大作せん	動物を探して捕まえたり、飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもち、生き物を大切にしようとするようにする。
2 学期	うごく うごく わたしのおもちゃ	身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとするようにする。
	みんなで つかう まちのしせつ	公共物や公共施設の利用を通して、それらを大切に、正しく完全に利用しようとするようにする。
	もっと なかよし まちたんけん	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとするようにする。
	つたわる 広がる わたしの生活	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、進んで触れ合い交流しようとするようにする。
3 学期	あしたへ ジャンプ	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするようにする。

通知表「はげみ」 評価の観点	
知識・技能	身近な人々、地域及び自然の特徴やよさに気づき、生活上で必要な習慣や技能を身に付けている。
思考、判断、表現	身近な人々、地域及び自然と自分の生活との関わりについて考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	身近な人々、地域及び自然について関心をもって学習し、自分の生活に生かそうとしている。

評価方法
ワークシート 発表 制作物 発言 行動

## 第2学年 音楽科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

第1学年及び第2学年の目標	
知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

	単元名	単元内容	教材
1 学期	1. 音楽でみんなとつながろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のこえやともだちのこえをよくきいてうたう。</li> <li>・ともだちとせかいのあそびうたを楽しむ。</li> <li>・いろいろなくにおどりの音楽を楽しむ。</li> <li>・かくれんぼであそんでいるようすをおもいうかべながらうたう。</li> </ul>	メッセージ 小犬のピンゴ ロンドンばし ティンクリン/エース オブ ダイ ヤモンド/とうしん ドーイ ドードレフスカ ポルカ
	2. はくのまとまりをかんじとろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はくのまとまりをかんじながらうたう。</li> <li>・2びょうしと3びょうしのちがいをかんじながらきく。</li> </ul>	はしの上で たぬきのたいこ ミッキーマウスマーチ メヌエット
	3. ドレミであそぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のたかさに気をつけながら、うたったりきいたりする。</li> <li>・音のたかさに気をつけながら、うたったりふいたりする。</li> <li>・音のたかさに気をつけながら、うたや鍵盤ハーモニカでおいかけっこをする。</li> <li>・うたにあわせて鍵盤ハーモニカをふく。</li> </ul>	ドレミのうた かっこう かえるのがっしょう ぶっかりくじら
	4. せいかつの中にある音を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みのまわりの音をこえてあらわして、音楽をつくる。</li> </ul>	虫のこえ
2 学期	5. リズムをかさねて楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2びょうしのはくによってリズムをうつ。</li> <li>・3びょうしのはくによってリズムをうつ。</li> <li>・はくによって楽しくがっそうする。</li> </ul>	この空とぼう いるかはざんぶらこ 山のポルカ
	6. くりかえしを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せんりつのくりかえしに気をつけてうたう。</li> <li>・くりかえしをつかって音楽をつくる。</li> <li>・せんりつのくりかえしに気をつけてきく。</li> </ul>	かねがなる おまつりの音楽 トルコ こうしんきょく
3 学期	7. いろいろながっきの音をさがそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろながっきの音の中からすきな音をさがす。</li> <li>・がっきの音のくみあわせを楽しむ。</li> <li>・いろいろながっきの音をかさねてえんそうする。</li> </ul>	だがっきパーティー がっきでおはなし かぼちゃ
	8. ようすをおもいうかべよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かしゃきょくのかんじを生かしてうたう。</li> <li>・音楽があらわすようすをおもいうかべながらきく。</li> <li>・かしのようすをおもいうかべながらうたう。</li> <li>・かしのようすをおもいうかべながら、うたったりふいたりする。</li> </ul>	あのね、のねずみは たまごのからをつけたひな どのりのバレエ タヤけこやけ 小ぎつね
	9. 日本のうたでつながろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべうたをきいたりうたったりする。</li> <li>・わらべうたにあうばんそうをつくって楽しむ。</li> </ul>	ずいずいすっころばし/ あんたがたどこさ なべなべそこぬけ
	10. みんなであわせて楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たがいのうたごえをききあいながらうたう。</li> <li>・うたごえとがっきの音をあわせてえんそうする。</li> <li>・がっそうの楽しさをかんじながらきく。</li> <li>・みんなで気もちをあわせてうたう。</li> </ul>	楽しいね こくまの二月 エンターテイナー はるがきた

通知表「はげみ」 評価の観点	
知識・技能	曲想と音楽の仕組みの関わりにつかき、表現するために必要な技能を身に付け、歌ったり演奏したりしている。
思考・判断・表現	音楽表現に思いや考えをもつとともに、曲や演奏の楽しさを見つけて、音楽を味わって聴いている。
主体的に学習に取り組む態度	音楽に親しみ、友達と協働しながら、楽しく活動しようとしている。

評価方法
歌唱・演奏の実技 ワークシートの記述内容 発言 授業態度

## 第2学年 図画工作科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

第1学年及び第2学年の目標	
知識及び技能	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくりだしたり表現することができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

題材の内容			
	1学期	2学期	3学期
造形遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきら だるだる</li> <li>・ならべて見つけて</li> <li style="padding-left: 20px;">いろいろ色水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どどんかわるよ新聞紙</li> <li>・しぜんからのおくりもの</li> </ul>	/
絵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すきなこと なあに</li> <li>・クレヨン、パスで</li> <li style="padding-left: 20px;">らんらんランド</li> <li>・どうぶつさんといっしょに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えのくじま</li> <li>・えのくひっぱレインボー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなでつながる</li> <li style="padding-left: 20px;">二つのせかい</li> <li>・たくさんうつそう</li> <li style="padding-left: 20px;">わたしの形</li> </ul>
立体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは むぎゅたん</li> <li>・つんで ならべて</li> <li style="padding-left: 20px;">びっくりシタワー</li> <li>・ふたりはなかよし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくカッターナイフ</li> </ul>	/
工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはながみ</li> <li style="padding-left: 20px;">かさねて すかして</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプ！キャッチ！</li> <li style="padding-left: 20px;">紙けん玉</li> <li>・ぎゅっとしたい！</li> <li style="padding-left: 20px;">わたしの「お友だち」</li> <li>・コップくるくるチェンジ</li> <li>・まどのあるたてもん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まごころメダルを</li> <li style="padding-left: 20px;">プレゼント</li> <li>・かぶってへんしん</li> </ul>
鑑賞	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たからもの ものがたり</li> </ul>	/

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
扱う材料	画用紙、色紙、木の葉、小枝、木の実、新聞紙、段ボール、包装紙、カップ、縄やひも、空き箱、皿、水、ビニル袋、ストロー、身近な材料など	(1・2学年に加えて) 木材、木切れ、板材、紙粘土、段ボール、ビー玉など	(3・4学年に加えて) 厚みのある板材、針金 広い布、ガラス玉など
扱う用具	カラーペン、クレヨン、パス、水彩絵の具、はさみ、のり、セロハンテープ、ホチキス、カッター ローラーなど	(1・2学年に加えて) のこぎり、釘、金づち、彫刻刀、インク、ビー玉、釘抜き、紙やすりなど	(3・4学年に加えて) コンテ、墨、糸のこぎり など

通知表「はげみ」 評価の観点	
知識・技能	自分の感覚を通して、材料や用具を活用するとともに、表し方を工夫してつくりだしている。
思考・判断・表現	造形的なよさや表し方について考えるとともに、身近な作品から自分の見方や感じ方を広げている。
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりしようとしている。

評価方法
作品 ワークシートへの記入 材料集め 準備・片付け 行動観察





# 体育科シラバス

朝霞市立朝霞第七小学校

## 第1学年及び第2学年の目標

知識及び技能	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

## 第1学年及び第2学年における通知表「はげみ」評価の観点

知識・技能	運動遊びの行い方について理解し、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自分やグループの運動遊びについての課題を見つけ、解決方法について考えたり友達に伝えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	きまりを守って運動遊びをしたり場や用具の安全に気を付けたりして、運動に進んで取り組もうとしている。

## 第3学年及び第4学年の目標

知識及び技能	各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

## 第3学年及び第4学年における通知表「はげみ」評価の観点

知識・技能	運動の行い方や健康で安全な生活について理解し、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自分やグループの運動や健康で安全な生活や体の発育・発達についての課題を見つけ、解決方法について考えたり友達に伝えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	きまりを守って運動したり場や用具の安全に気を付けたりして、運動に進んで取り組もうとしている。

## 第5学年及び第6学年の目標

知識及び技能	各種の運動の楽しさや喜びに味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性等	各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養

## 第5学年及び第6学年における通知表「はげみ」評価の観点

知識・技能	運動の行い方や健康で安全な生活について理解し、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自分やグループの運動や健康で安全な生活や体の発育・発達についての課題を見つけ、解決方法について考えたり友達に伝えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	きまりを守って運動したり場や用具の安全に気を付けたりして、運動に進んで取り組もうとしている。

## 評価方法

観察 実技 発言 学習カード テスト 等

学年別主題配列一覧表

【第2学年】

朝霞市立朝霞第七小学校

時数	学期	月	週	主題名	内容項目	教材名<出典>
①	1 学期	4 月	2	どうとくが はじまるよ		どうとくが はじまるよ くみがいちばんひかるとき
②			3	きそく正しい生活	A (3) 節度、節制	二年生になって くみがいちばんひかるとき
③			4	気もちのいいあいさつ	B (8) 礼儀	あいさつ月間 くみがいちばんひかるとき
④			5 月	2	きまりをまもって	C (10) 規則の尊重
⑤		3		すてきな学校	C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実	しょうかいします くみがいちばんひかるとき
⑥		4		してよいこと、いけないこと	A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	角がついたかいじゅう くみがいちばんひかるとき
⑦		6 月		1	友だちとなかよく	B (9) 友情、信頼
⑧			2	自分のよいところ	A (4) 個性の伸長	おり紙の名人ーよしざわ あきら くみがいちばんひかるとき
⑨			3	やさしい気もちで	B (6) 親切、思いやり	ときどきしたけど くみがいちばんひかるとき
⑩			4	しげんに親しむ	D (18) 自然愛護	ダンゴムシのまるちゃん くみがいちばんひかるとき
⑪		7 月	1	かわっていくわたし	D (17) 生命の尊さ	もうすぐ八さい くみがいちばんひかるとき
⑫			2	ありがとうをつたえよう	B (7) 感謝	ありがとうの手紙 くみがいちばんひかるとき
⑬	2 学期	8・9 月	3	すごしやすいクラスに	C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実	クラスの大へんしん くみがいちばんひかるとき
⑭			1	よくないと思うことは	A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任	やめなさいよ くみがいちばんひかるとき
⑮			2	自分たちとちがっても	C (11) 公正、公平、社会正義	およげないりすさん くみがいちばんひかるとき
⑯			3	すなおな心で	A (2) 正直、誠実	お月さまとココロ くみがいちばんひかるとき
⑰		10 月	1	みんなでつかうものだから	C (10) 規則の尊重	黄色いベンチ くみがいちばんひかるとき
⑱			2	自分が しなければいけないこと	A (5) 希望と勇氣、努力と強い意志	ぼくは まけない くみがいちばんひかるとき
⑲			3	自分をすきになる	A (4) 個性の伸長	どうして うまくいかないのかな くみがいちばんひかるとき
⑳			4	はたらくことのよさ	C (12) 勤労、公共の精神	おでこのあせ くみがいちばんひかるとき
㉑		11 月	1	だれにたいしても	C (11) 公正、公平、社会正義	雨ふり くみがいちばんひかるとき
㉒			2	あいても自分も気もちよく	B (8) 礼儀	なかよしだけど くみがいちばんひかるとき
㉓			3	あいてを思いやって	B (6) 親切、思いやり	くりの み くみがいちばんひかるとき
㉔			4	生きていることのごさ	D (17) 生命の尊さ	ぼくの かさぶた くみがいちばんひかるとき
㉕	12 月	1	かそくの一人として	C (13) 家族愛、家庭生活の充実	もうすぐお正月 くみがいちばんひかるとき	
㉖		2	みんなのために	C (12) 勤労、公共の精神	黒ばんが にっこりするかな くみがいちばんひかるとき	
㉗	3 学期	1 月	2	うつくしいとかんじるもの	D (19) 感動、畏敬の念	きらきら くみがいちばんひかるとき
㉘			3	よく考えて	A (3) 節度、節制	お年玉を もらったけれど くみがいちばんひかるとき
㉙			4	日本のぶんか	C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	おせちのひみつ くみがいちばんひかるとき
㉚			2 月	1	せかいのことを知ろう	C (16) 国際理解、国際親善
㉛		2		みんながささえるいのち	D (17) 生命の尊さ	空色の自転車 くみがいちばんひかるとき
㉜		3		正直でいられたら	A (2) 正直、誠実	すてきなえがお くみがいちばんひかるとき
㉝		4		ありがとうと思える心	B (7) 感謝	ありがとうの絵 くみがいちばんひかるとき
㉞		3 月	1	友だちっていいな	B (9) 友情、信頼	ぶらんこ くみがいちばんひかるとき
㉟			2	あきらめないで	A (5) 希望と勇氣、努力と強い意志	こうさとびができた くみがいちばんひかるとき